



健康

経営者・従業員のための

ひとくちメモ



(公財) 福井県健康管理協会
診療放射線技師 手賀 大助

胃部 X 線検査 (バリウム検査)

胃部 X 線検査 (バリウム検査) の内容を、診療放射線技師の立場で解説します。

○質問票はなぜ必要か

現在過去の情報を参考にすることにより正確な判定が出来るように必要とします。

また、より安全に受診いただくことが出来るよう現在の身体的な情報もお聴きしています。

○更衣はなぜ必要か

余分な物が画像に写ると、胃の一部が見えなくなります。隠れた部分を極力なくし、胃全体を観察するためにお願いしています。(ベルト、スカート等の金属・プラスチックの部分など小さい物でも支障がある場合があります)

○バリウムの量を減らすことは可能か

飲んでいただく量は、検査に必要な最低限の量となっています。決して美味しいとは言えませんが必要な量ですので全量をお願いします。

味については、味覚・嗅覚によって胃液が分泌され、検査の妨げにな

る可能性が高いため、美味しいもの、いい匂いのものの使用は難しいです。

○胃を膨らませる発泡剤は どうしても必要か

バリウム検査は、胃の内側にバリウムを均一に塗布し、表面のひだ・凹凸を観察します。胃の細かい区画にバリウムを付着させ、出来るだけ胃を膨らませる必要があります。

また、観察できる範囲を広げることも併せて目的としています。

○検査中の色々な動きの目的

バリウム検査はバリウムを胃の内側に付着させて観察します。胃の表面に胃液がある場合、バリウムが十分に付着しないため、まず胃液を洗い流す必要があります。そのため、体を左右に向けたり、回転させたりします。また、バリウムがある場所は観察することが出来ませんので、目的の場所から別の場所に移動させなければなりません。そのためにも色々な方向に動いていただくことが必要となり、逆さのような状態になることもあります。

○検査中の動き (右左) を間違える どのような事が起こるのか

間違えた場合に起こることとしては、胃の形にもよりますが、バリウムが胃を通り超えて小腸に流れてしまう事があります。小腸に流れたバリウムによって、胃が隠れ、十分な観察が出来なくなることがあります。

しかし、一年に一度の受診で間違えることは仕方ありません。間違えても慌てず焦らずに動いていただければと思います。

○検査後に飲む下剤は必要か

検査によって体に入ったバリウムを出来るだけ早く出していただくためです。長時間体内にあると、バリウムが固まって排出することが困難になり、事故に繋がる恐れがあります。(日常的に便秘等がある方には追加の下剤をお渡しします)

